

セブン-イレブンみどりの基金の平成16年度の収入は、おかげさまで店頭募金2億7059万3388円、セブン-イレブン本部からの寄付金8261万6256円、その他の収入2326万2568円、繰越金3055万2246円を合わせ、合計4億702万4458円となりました。

また、支出は事業費1億8832万7707円、管理費5159万8391円を合わせ支出合計2億3992万6098円となり、お客様からの募金とセブン-イレブン本部からの寄付金をもとに、環境をテーマに活動している市民ボランティア団体への支援や自然環境の保護・保全事業、地域環境の美化事業、広報事業を行いました。また、平成16年10月には新潟県中越地震および台風23号の災害、12月にはスマトラ島沖地震の災害に対し全国のセブン-イレブン店頭で義援金の募金活動を行いました。

平成16年度の主な活動としては、第一に、環境をテーマに活動している市民ボランティア団体への支援体制の拡充に取り組みました。店頭募金を広く市民ボランティア団体に還元するための公募助成制度の拡充や地域の市民ボランティア団体を支援するための東海地域での地域活動支援センターの立ち上げ、さらには、環境ボランティアリーダーの活動や技術の向上を目指した環境先進国ドイツへの海外研修など環境をテーマに活動する地域の市民ボランティア活動を支援する体制の整備に努めました。

また、自然環境の保護・保全活動では、北海道霧多布湿原において地元環境NPOとのトラスト協定にもとづき民有地5.3haの湿原を取得し、タンチョウヅルの餌場を確保するとともに木道の整備を行い、湿原やタンチョウヅルの保護と観察ができる体制づくりを行いました。また、富士山地域の保護・保全活動では、富士山麓に広がる樹海において2万3000人の小中学生に対しての環境体験学習や日本テレビの「24時間テレビ」チャリティー委員会との「富士山地域一斉清掃」、さらには「富士山を考えるフォーラムin2005」で小池環境大臣との討論会を実施するなど、富士山を世界遺産にするための活動をNPO法人富士山クラブと連携して行いました。

その他、地域の清掃活動では「ラブアース・クリーンアップin北海道2004」などを実施し、広報事業ではホームページのリニューアル、広報誌『みどりの風』の創刊など当基金の情報発信の充実を図りました。

今後も環境をテーマに活動する市民ボランティアの支援の充実を図り、努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。